

第4 【経理の状況】

1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）第1条の2に定める「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」（以下、「IAS第34号」という。）に準拠して作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2021年7月1日から2021年9月30日まで)および第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)に係る要約四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【要約四半期連結財務諸表】

(1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	7	17,834	22,149
営業債権及びその他の債権	7	28,212	31,362
その他の金融資産	7	3	3
棚卸資産		36,452	34,736
その他の流動資産		3,735	3,552
流動資産合計		86,237	91,804
非流動資産			
有形固定資産		120,171	117,891
無形資産		2,202	3,238
持分法で会計処理されている投資		14,042	15,499
その他の金融資産	7	22,407	23,451
繰延税金資産		1,569	1,381
その他の非流動資産		10,292	11,290
非流動資産合計		170,686	172,752
資産合計		256,923	264,557

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	7	19,221	20,981
社債及び借入金	7	7,841	13,483
その他の金融負債	7	1,724	1,644
未払法人所得税等		2,587	2,561
引当金		6,379	6,139
その他の流動負債		7,110	6,426
流動負債合計		44,865	51,237
非流動負債			
社債及び借入金	7	19,014	11,631
その他の金融負債	7	2,145	1,913
繰延税金負債		1,795	2,547
引当金		1,388	1,343
退職給付に係る負債		291	279
その他の非流動負債		1,900	1,907
非流動負債合計		26,536	19,622
負債合計		71,402	70,859
資本			
資本金		18,169	18,169
資本剰余金		14,897	14,724
自己株式		△8,697	△8,698
利益剰余金		154,166	161,362
その他の資本の構成要素		5,294	6,668
親会社の所有者に帰属する持分合計		183,830	192,226
非支配持分		1,690	1,472
資本合計		185,521	193,698
負債及び資本合計		256,923	264,557

(2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	5, 6	66, 038	79, 069
売上原価		47, 891	55, 967
売上総利益		18, 146	23, 101
販売費及び一般管理費		12, 588	13, 202
持分法による投資利益		752	1, 235
その他の収益		203	468
その他の費用		337	236
営業利益	5	6, 177	11, 364
金融収益		320	240
金融費用		106	155
税引前四半期利益		6, 390	11, 450
法人所得税費用		1, 582	3, 045
四半期利益		4, 808	8, 405
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		4, 813	8, 328
非支配持分		△5	76
四半期利益		4, 808	8, 405
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	9	246. 64	426. 73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9	246. 39	426. 16

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上収益		34,572	41,220
売上原価		24,776	28,368
売上総利益		9,796	12,852
販売費及び一般管理費		6,361	6,525
持分法による投資利益		346	561
その他の収益		98	377
その他の費用		215	155
営業利益		3,664	7,110
金融収益		23	20
金融費用		121	41
税引前四半期利益		3,566	7,089
法人所得税費用		797	2,024
四半期利益		2,768	5,064
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		2,764	5,025
非支配持分		4	39
四半期利益		2,768	5,064
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	9	141.61	257.47
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	9	141.46	257.11

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益		4,808	8,405
その他の包括利益			
純損益に振替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	7	2,736	718
確定給付制度の再測定		990	524
合計		3,726	1,243
純損益に振替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△497	635
合計		△497	635
税引後その他の包括利益		3,228	1,879
四半期包括利益		8,037	10,284
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		8,013	10,211
非支配持分		23	72
四半期包括利益		8,037	10,284

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

注記	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	2,768	5,064
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	880	1,263
確定給付制度の再測定	253	118
合計	1,134	1,381
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△228	457
合計	△228	457
税引後その他の包括利益	906	1,839
四半期包括利益	3,674	6,903
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,671	6,854
非支配持分	2	48
四半期包括利益	3,674	6,903

(3) 【要約四半期連結持分変動計算書】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
		資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2020年4月1日残高		18,169	15,044	△8,693	135,918	80	△4,858
四半期利益					4,813		
その他の包括利益							△493
四半期包括利益合計		—	—	—	4,813	—	△493
自己株式の取得				△1			
株式報酬取引						14	
配当金	8				△1,659		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					6,914		
所有者との取引額合計		—	—	△1	5,255	14	—
2020年9月30日残高		18,169	15,044	△8,694	145,987	94	△5,352

	注記	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高		9,329	—	4,551	164,990	1,633	166,623
四半期利益				—	4,813	△5	4,808
その他の包括利益		2,703	990	3,199	3,199	29	3,228
四半期包括利益合計		2,703	990	3,199	8,013	23	8,037
自己株式の取得				—	△1		△1
株式報酬取引				14	14		14
配当金	8			—	△1,659	△56	△1,715
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△5,924	△990	△6,914	—		—
所有者との取引額合計		△5,924	△990	△6,900	△1,645	△56	△1,702
2020年9月30日残高		6,108	—	850	171,357	1,600	172,958

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	注記	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日残高		18,169	14,897	△8,697	154,166	110	△3,161
四半期利益					8,328		
その他の包括利益							635
四半期包括利益合計		—	—	—	8,328	—	635
自己株式の取得				△1			
株式報酬取引						15	
配当金	8				△1,659		
非支配持分との資本取引			△172				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					525		
所有者との取引額合計		—	△172	△1	△1,133	15	—
2021年9月30日残高		18,169	14,724	△8,698	161,362	125	△2,525

	親会社の所有者に帰属する持分						
	注記	その他の資本の構成要素		合計	合計	非支配持分	資本合計
		その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定				
2021年4月1日残高		8,345	—	5,294	183,830	1,690	185,521
四半期利益				—	8,328	76	8,405
その他の包括利益		722	524	1,882	1,882	△3	1,879
四半期包括利益合計		722	524	1,882	10,211	72	10,284
自己株式の取得				—	△1		△1
株式報酬取引				15	15		15
配当金	8			—	△1,659	△62	△1,721
非支配持分との資本取引		1		1	△171	△228	△399
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		△1	△524	△525	—		—
所有者との取引額合計		0	△524	△508	△1,816	△290	△2,107
2021年9月30日残高		9,068	—	6,668	192,226	1,472	193,698

(4) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		6,390	11,450
減価償却費及び償却費		5,751	5,832
金融収益		△248	△240
金融費用		103	72
持分法による投資損益(△は益)		△752	△1,235
有形固定資産及び無形資産除売却損益(△は益)		96	156
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)		2,976	△3,271
棚卸資産の増減(△は増加)		1,600	1,823
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)		△1,752	2,362
引当金の増減(△は減少)		△386	△286
退職給付に係る資産及び負債の増減		△224	△282
その他		2,228	△429
小計		15,784	15,953
利息及び配当金の受取額		442	447
利息の支払額		△102	△72
法人所得税の支払額		△4,800	△2,811
営業活動によるキャッシュ・フロー		11,323	13,517
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産及び無形資産の売却による収入		22	190
有形固定資産及び無形資産の取得による支出		△5,490	△6,693
投資有価証券の売却による収入		9,249	—
投資有価証券の取得による支出		△6	△5
政府補助金による収入		—	2,201
その他		△321	△472
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,454	△4,779
財務活動によるキャッシュ・フロー			
支払配当金	8	△1,659	△1,659
非支配持分への支払配当金		△56	△62
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)		△2,752	△776
長期借入れによる収入		1,930	—
長期借入金の返済による支出		△1,279	△973
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出		—	△399
自己株式の取得による支出		△1	△1
その他		△648	△646
財務活動によるキャッシュ・フロー		△4,466	△4,519
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響		4	98
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		10,315	4,315
現金及び現金同等物の期首残高		7,268	17,834
現金及び現金同等物の四半期末残高		17,583	22,149

【要約四半期連結財務諸表注記】

1. 報告企業

株式会社クレハ(以下、「当社」という。)は日本に所在する株式会社であり、東京証券取引所に株式を上場しております。登記上の本社および主要な事業所の住所はホームページ(URL <https://www.kureha.co.jp/>)で開示しております。当第2四半期連結会計期間(2021年7月1日から2021年9月30日まで)および当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の要約四半期連結財務諸表は、当社およびその子会社(以下、「当社グループ」という。)ならびに当社グループの関連会社に対する持分により構成されております。当社グループの事業内容は、主に機能製品、化学製品、樹脂製品の製造・販売であり、更に各事業に関する設備の建設・補修、物流、環境対策およびその他のサービス等の事業活動を行っております。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、IAS第34号に準拠して作成しております。

当社グループは、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定を適用しております。

要約四半期連結財務諸表は、連結会計年度の連結財務諸表で要求されるすべての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、取得原価を基礎として作成しております。ただし、「3. 重要な会計方針」に記載のとおり、一部の金融資産、金融負債および従業員給付等については公正価値で測定しております。

(3) 機能通貨および表示通貨

要約四半期連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円で表示しております。日本円で表示している財務情報は、原則として百万円未満を切捨てて表示しております。

(4) 要約四半期連結財務諸表の承認

2021年11月12日に、本要約四半期連結財務諸表は当社代表取締役社長小林豊によって承認されております。

3. 重要な会計方針

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

4. 重要な会計上の見積りおよび判断

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、マネジメントは、会計方針の適用ならびに資産、負債、収益および費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積りおよび仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績はこれらの見積りとは異なる場合があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの見直しによる影響は、その見積りを見直した会計期間と将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表における重要な会計上の見積りおよび判断は、原則として前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した仮定から重要な変更はありません。

5. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりです。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品 炭素繊維、球状活性炭
化学製品事業	農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤、か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	産業廃棄物の処理および環境関連処理設備、理化学分析・測定・試験および検査業務 運送および倉庫業務、医療サービス

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一であります。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	18,590	11,067	21,086	5,828	9,464	66,038	—	66,038
セグメント間の 内部売上収益	293	85	86	3,094	2,892	6,452	△6,452	—
計	18,884	11,153	21,172	8,923	12,357	72,491	△6,452	66,038
営業利益又は損失(△)	△760	882	3,722	462	2,003	6,311	△134	6,177
金融収益								320
金融費用(△)								△106
税引前四半期利益								6,390

(注) 営業利益又は損失の調整額にはセグメント間取引消去等による損失△0百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益203百万円およびその他の費用△337百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	28,794	12,804	22,942	5,524	9,003	79,069	—	79,069
セグメント間の 内部売上収益	406	98	100	2,808	3,299	6,713	△6,713	—
計	29,201	12,902	23,042	8,332	12,303	85,783	△6,713	79,069
営業利益	2,600	1,168	5,140	414	1,799	11,123	241	11,364
金融収益								240
金融費用(△)								△155
税引前四半期利益								11,450

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益10百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益468百万円およびその他の費用△236百万円が含まれております。

6. 売上収益

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントの主要製品・サービスは、「5.セグメント情報」に記載しております。

機能製品、化学製品、樹脂製品の販売については、主に製品の引渡時に顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断しており、主に製品の引渡時に収益を認識しております。なお、製品の販売から生じる収益は、顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート等を控除した金額で測定しております。

工事およびその他のサービスの提供については、主に当該サービスに対する支配が一定の期間にわたり顧客に移転し、履行義務が充足されると判断しており、主に当該サービスの進捗度に応じて収益を認識しております。なお、工事の進捗度は、見積総原価に対する発生原価の割合で測定しております。

各報告セグメントの収益と、種類別に分解した収益との関連は、以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	合計
製品の販売	18,589	10,853	21,086	—	—	50,529
工事	—	—	—	5,828	378	6,207
その他のサービスの提供	0	214	—	—	9,085	9,301
合計	18,590	11,067	21,086	5,828	9,464	66,038

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	合計
製品の販売	28,793	12,742	22,942	—	—	64,478
工事	—	—	—	5,524	313	5,837
その他のサービスの提供	0	62	—	—	8,690	8,753
合計	28,794	12,804	22,942	5,524	9,003	79,069

7. 金融商品

(1) 金融資産および金融負債の帳簿価額および公正価値

当社グループが保有する金融資産および金融負債の科目別の帳簿価額および公正価値は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
(単位：百万円)				
金融資産				
償却原価で測定する金融資産				
その他の金融資産	1,518	1,518	1,521	1,521
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産	20,892	20,892	21,933	21,933
合 計	22,410	22,410	23,454	23,454
金融負債				
償却原価で測定する金融負債				
社債及び借入金	26,855	26,993	25,114	25,235
その他の金融負債	3,692	3,692	3,402	3,402
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
デリバティブ負債	178	178	154	154
合 計	30,725	30,863	28,671	28,792

(2) 公正価値の測定方法

当要約第2四半期連結財務諸表において使用する主な金融資産・負債の公正価値の測定方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において使用した測定方法と同一であります。

(3) 公正価値で測定する金融商品のレベル別分類

公正価値とヒエラルキーは、以下の3つのレベルとなっております。

レベル1 測定日における当社グループがアクセスできる同一の資産または負債に関する活発な市場における無調整の相場価格によるインプット

レベル2 公正価値ヒエラルキーのレベル1に含まれない、資産または負債について直接または間接的に観察可能なインプット

レベル3 資産または負債に関する観察可能でないインプット

インプットが複数ある場合には、公正価値の階層のレベルは重要なインプットのうち最も低いレベルとしております。公正価値ヒエラルキーのレベル間振替は、各報告期間の期末に発生したものと認識しております。

①公正価値で認識している金融資産および金融負債
前連結会計年度(2021年3月31日)

(単位：百万円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産	18,565	—	2,327	20,892
合 計	18,565	—	2,327	20,892
金融負債				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
デリバティブ負債	—	178	—	178
合 計	—	178	—	178

(注) レベル間の振替はありません。

当第2四半期連結会計期間(2021年9月30日)

(単位：百万円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金融資産				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産	19,565	—	2,368	21,933
合 計	19,565	—	2,368	21,933
金融負債				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債				
デリバティブ負債	—	154	—	154
合 計	—	154	—	154

(注) レベル間の振替はありません。

②レベル2およびレベル3に区分される公正価値測定に関する情報

レベル2に区分される金融資産または金融負債は、デリバティブ取引によるものであり、これらの公正価値については、市場における先物為替相場または金利等の観察可能なインプットを利用して測定しております。

レベル3に区分される金融資産は、主として非上場の資本性金融商品であります。これらの公正価値については、主に類似会社の市場価格に基づく評価方法および純資産価値に基づく評価方法に、評価倍率等の観察可能でないインプットを利用して測定しております。

レベル3に区分される金融資産の経常的および非経常的な公正価値は、グループ会計方針の定めに従い測定しており、金融商品の個々の資産性質、特徴ならびにリスクを最も適切に反映できる評価方法およびインプットを決定しております。また、公正価値の測定結果については、上位役職者によるレビューと承認を行っております。

なお、レベル3に区分される金融商品のインプットについて、それぞれ合理的と考えられる代替的な仮定に変更した場合に、公正価値の金額に重要な変動はないと考えております。

③レベル3に区分した金融商品の調整表

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
	その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産
期首残高	2,241	2,327
当期の利得または損失(注)	41	41
購入等	—	0
売却	△0	—
期末残高	2,282	2,368

(注) 当期の利得または損失は、要約四半期連結包括利益計算書の「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に表示しております。

8. 配当金

(1) 配当金支払額

配当金の支払額は、次のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年4月21日 取締役会	普通株式	1,659	85.00	2020年3月31日	2020年6月2日

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年4月20日 取締役会	普通株式	1,659	85.00	2021年3月31日	2021年6月3日

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年10月20日 取締役会	普通株式	1,659	85.00	2020年9月30日	2020年12月2日

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年10月19日 取締役会	普通株式	1,658	85.00	2021年9月30日	2021年12月2日

9. 1株当たり四半期利益

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

項目	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,813	8,328
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益	—	—
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	4,813	8,328
期中平均普通株式数(株)	19,518,258	19,517,659
基本的1株当たり四半期利益	246円64銭	426円73銭

項目	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,764	5,025
親会社の普通株主に帰属しない四半期利益	—	—
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	2,764	5,025
期中平均普通株式数(株)	19,518,181	19,517,582
基本的1株当たり四半期利益	141円61銭	257円47銭

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

(単位：百万円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	4,813	8,328
四半期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	4,813	8,328
期中平均普通株式数(株)	19,518,258	19,517,659
希薄化効果の影響(株)	19,803	26,290
希薄化効果の調整後(株)	19,538,061	19,543,949
希薄化後1株当たり四半期利益	246円39銭	426円16銭

(単位：百万円)

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
希薄化後の普通株主に帰属する四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	2,764	5,025
四半期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	2,764	5,025
期中平均普通株式数(株)	19,518,181	19,517,582
希薄化効果の影響(株)	20,642	26,999
希薄化効果の調整後(株)	19,538,823	19,544,581
希薄化後1株当たり四半期利益	141円46銭	257円11銭

2 【その他】

2021年10月19日開催の取締役会において、2021年9月30日最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|-----------------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 1,658百万円 |
| ② 1株当たりの配当金 | 85円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日および支払開始日 | 2021年12月2日 |